

## 事例 32 クマ被害の予防に向けた関係団体と協働した森林整備活動

(中部森林管理局 富山森林管理署)



- ・富山県富山市 おおさわの大沢野国有林
- ・(左) 林内整備の様子(令和6(2024)年11月)
- ・(右) 実施箇所位置図(令和6(2024)年11月)

全国に分布する国有林野は、奥地脊梁山地や水源地域だけでなく、市街地周辺にも所在しており、各森林管理局署では、地域の要望を踏まえつつ、個々の国有林野ごとに適切な管理を行っています。

富山県富山市に所在する大沢野国有林は、住宅地近辺に位置する防風保安林であり、山から吹き下ろす風から近隣の田畑を守る働きをしています。しかし、この地域では、令和5(2023)年にクマの目撃情報が多数報告され、また、近年毎年のように県内でクマによる人身被害が発生していることから、地元住民から「クマの隠れ家となるような箇所を減らしてほしい」との要望がありました。

これを受けて、富山森林管理署では、名古屋林業土木協会富山支部と協働し、国有林内の雑草や雑灌木の除去等の森林整備を実施しました。その結果、防風保安林としての機能を維持しつつ、クマが身を隠しづらい、明るく見通しの良い林内となりました。また、地元住民からはこの森林整備活動に対する感謝がありました。

同署では、今後も地域住民の要望も踏まえつつ、国有林野の適切な管理に努めていきます。